

し だ い は ま
次第浜地区
(新潟県聖籠町)

- 計 画 期 間 平成 17 年度～平成 21 年度
- 面 積 59.5 h a
- 交付対象事業費 386.7 百万円
- 町 人 口 14,235 人

ポイント

就業者世代と高齢者世代が調和し、住民
全てが安心して暮らせるまちづくり

地区概要

環境良好な職住近接型住宅地整備及び新た
な高齢者福祉拠点の形成

目 標

職住近接型住宅の供給を図り、定住人口の増加により、地域の活性化を誘導する。また高齢者福祉施設の利用待機者を解消するために高齢者福祉施設の立地誘導を図るとともに、施設利用者の利便性向上を図る。

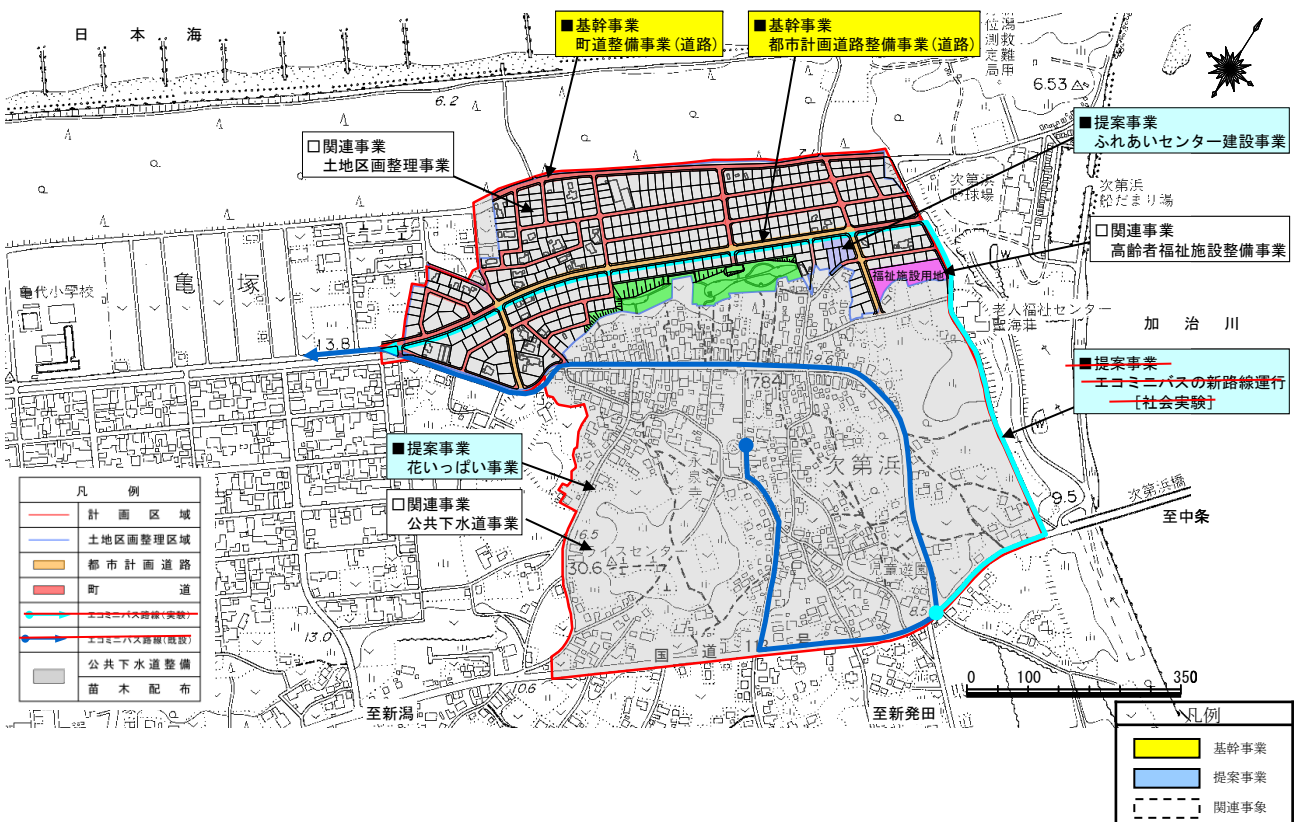
指 標

町内企業の近接に定住を希望する就業者の受け皿となる住宅地を整備し、人口増加を図り、地域活性化を図る。また、新住宅地内に高齢者福祉施設を建設し利用者の利便性向上を目標とした。

職住近接の就業者数	3,859 人 (H12)	→	3,930 人 (H21)
住居者数	2,047 人 (H17)	→	2,380 人 (H21)
高齢福祉施設の待機者数	19,883 人 (H15)	→	7,950 人 (H21)
高齢福祉施設までの時間	15 分 (H16)	→	3 分 (H21)

事業内容

- 基幹事業 (280.2 百万円) → 道路 (幅員 6.0m→12.0m、延長 5,146.2m)
- 提案事業 (106.5 百万円) → ふれあいセンター (1カ所)、花いっぱい事業



地区の現況と課題

職住近接型住宅・地域活性化

本町は新潟東港の開発により、都市化が進み、新潟東港の背後地に整備された工業地帯には、200社（町内97社）を超える企業が進出している。これらに伴い、町内人口は緩やかに増加しているが、大規模な住宅開発が途絶えているため、住宅供給が追いついていない状況である。

高齢者福祉

本町には、高齢者福祉施設が2ヶ所整備されているが、利用待機者が慢性化している状況である。また、当該地区には同種施設がない。



地区の全景

提案事業の特徴

亀代地区公民館（仮称 ふれあいセンター）建設

多機能をもつ複合施設を建設し、コミュニティの増加を図るとともに、既存住人と転入者の融合に寄与させる。



整備前



整備後

亀代地区公民館

花いっぱい事業

地区のシンボルとなる花木を選定し、既存住人と転入者との連帯感や調和を図る。同時に、地区景観の向上にも寄与させる。

計画策定プロセス

住宅地の供給

町と準備委員会が一丸となって関係機関と地権者との協議を重ね、区画整理事業の実現の第一歩となる、市街化区域編入（H16年3月）を果たす。土地区画整理事業による計画的な市街地整備を行ない、良好な住宅地の形成を図る。



整備前



整備後

土地区画整理事業の住宅形成状況

地域の活性化、既存住人との調和

地区内に多機能型ふれあいセンターの建設や地区のシンボルとなる花木配布により転入者と既存住人との調和を図る。